

Weekly Michael's News

Thank you!!

<今週の聖句>

2017年10月16日発行 No.50

『主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。』
(新約聖書 フィリピの信徒への手紙 4:4~5)

<キリスト教センターの何気ないお昼を密着取材!? そこには不思議な見えない繋がりが...>

週刊のチャプレン通信は、今号で記念すべき第50号を迎えました!! 今回は、キリスト教センターを活用してくれている学生に緊急インタビューを敢行!! その生の声を紹介します!!



経済学部生の頃、学祭やクリスマス礼拝の手伝いを頼まれた事からキリスト教センターやスタッフの方々との繋がりが生まれました。リハ学部に入學し、再度センターを訪れるようになって驚くのが出席者数の増加です。やっぱり歌声や祈りの声も大きいし、みんなで礼拝できるって凄い事ですよ!?(リハビリテーション学部3年 筧 裕樹さん)

最初はAOポイントを集めるために礼拝に参加していました。ある日センターに飾ってあったマザー・テレサの写真を見ていたら、職員の方に声を掛けられてこの場所に集うようになりました。この何とも言えない居心地の良さが好きです。(経済学部2年 蔭山 颯人くん)



元々バイオリンを習っていてクラシック音楽に関心があった事と、入学礼拝で歌った聖歌がとても好きな曲で、そこから聖歌隊に入った事がきっかけですね。聖歌隊の奉唱は丁度良い緊張の中で演奏できる、自分にとってかけがえの無い成長の機会になっています。(経済学部2年 乃木 大樹くん)

僕は附属高校出身で、特待生として大学に進学しました。そこから毎日礼拝に出るようになり、今はサーバーも担当していて、とても充実しています。キリスト教センターは、弁当を食べたり、色々な人と話したり、記念礼拝等のイベントも多く体験できる、自分の力を生かせる最高の場所だと思っています!!(経済学部2年 川畑 勇人くん)



キリスト教センターを初めて訪れたのは、高校生の時のオープンキャンパスでした。パイプオルガンの演奏に圧倒され「入学したら弾いてみたい!!」と思い、オルガンの会に入会しました。そこから礼拝に出るようになり、今ではサーバーも担当しています。(経済学部1年 玉置 彩華さん)

それぞれの違いが面白い事と、その導きに神の業を感じます!! これからも学生の成長に資するキリスト教センターでありたいと願いつつ、一人でも多くの皆様のご来館を心からお待ちしています!!

<先週のメッセージ>

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています。

10月9日(月) テーマ:「愛をもって互いに仕えよ」

下村 雄己(学長)

学生時代、留学先の大学で愛に関する聖書の言葉に出会った。「…愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。(中略)信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。」(I コリ 13 章) 今、学長としての働きが与えられる中で、この言葉が何度も心に響く。愛をもって互いに仕え合う、そんな神戸国際大学の実現を心から願いつつ、皆で職務に全力で邁進したい。

10月10日(火)



※この日は、後期初めての「音楽礼拝」で、オルガニストの伊藤純子先生が素敵な演奏を披露して下さいました!!

← 聖歌隊の奉唱も含めてまた後期も音楽礼拝を行いますので乞うご期待!!

10月11日(水) テーマ:「ボランティアに行ってみよう」

坂岡 武敏(経済学部1年)

ボランティア活動のため、夏休みにフィリピンへ行った。お世話になる社長さんの家の周りは半壊やプレハブ小屋ばかりだった。翌日、小学校で空手を教え、文房具や古着を配った時、女の子が泣いて喜んでいて。とても貧しいのに、なぜか日本よりも幸せそうに見えた。苦労して食を得、感謝をしていた。日本は物が豊か住みやすい国ではあるが、それが当たり前になっていないだろうか? フィリピンの小さな事にも感謝する、前向きな生き方こそが人間らしいな…と思った。



10月12日(木) テーマ:「健康のためのリテラシーの大切さ」

大谷 啓尊(リハビリテーション学部)

日本は長寿大国と言われるが、健康寿命の点から見ると他の国と大差が無いというデータがある。これに大きく関わっているのが「ヘルスリテラシー」(健康に関する情報を入手し、理解し、評価し、活用する力)であるように思う。「ダイエットで体重を3kg 落とした」と聞いてその情報に飛びつくのではなく、「必要な食事を削っていないか?」「運動との関係は?」等、様々な角度から、時には批判的に情報を分析していく必要があると思う。手軽に入手できるサプリメント、また抗がん剤や子供のワクチン接種など、日々発信される健康に関する情報の洪水にも流されないよう心掛けたい。

10月13日(金) テーマ:「健全な魂の行方」

野間 光顕(チャプレン)

先日の体育の日は、「広く国民がスポーツに親しみ、健康・健全な心身を培う日」として祝日に定められている。この「健全な…」という言葉を聞く時「健全なる精神は健全なる身体に宿る」という諺を思い出す。学生時代に体育会に所属していた私は、試合に負けた時によくこの諺を聞いた。最近この諺を調べて驚いたのが、この言葉のは「宿れかし」(宿ったらいいのにな、宿るべきだ)という願いが込められていたという事だ。古代ローマ時代の風刺詩人ユウェナリスが残したこの言葉は、ローマ市民に対し誘惑に打ち克つ勇敢な精神を強く求めたが、近世になって世界規模の大戦が始まると、ナチス・ドイツのスローガンとして恣意的に改竄しながら、軍国主義を押し進める原因となっていく。聖書の見つめる本当の意味での精神と肉体の充実。それを求めていきたい。(文責:野間 光顕)